

砂防ボランティア通信

1999. 3. 17

Vol. 4

発行：大阪府砂防ボランティア協会

■ ごあいさつ

三寒四温のうちに、春の訪れを感じる頃となりました。砂防ボランティアの皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当協会の平成10年度の主な活動をご報告させていただきます。昨年6月には府・市町村合同土砂災害危険箇所パトロールに参加し、延べ7日間で土石流危険渓流12渓流、急傾斜地崩壊危険箇所24箇所、地すべり危険箇所4箇所をパトロールしました。同年11月には当協会主催で高槻市、柏原市及び岸和田市の3市域において土砂災害危険箇所点検を実施し土石流危険渓流4渓流、急傾斜地崩壊危険箇所8箇所、地すべり危険箇所2箇所を点検しました。また、本年2月18日（木）には砂防ボランティア講習会を開催し、京都府立大学名誉教授の大手桂二先生にご講演いただくとともに、土砂災害に関するビデオを上映いたしました。

平成11年度もさらに一層充実した活動を行っていきたいと考えております。今後ともご協力いただけますようお願い申し上げます。

大阪府砂防ボランティア協会 会長 三宅 清

■ 『砂防ボランティア講習会』を開催

平成11年2月18日（木）大阪府庁新別館北館4階多目的ホールにおいて、『砂防ボランティア講習会』を開催しました。

当日は、64名のボランティア、46名の大阪府、市町村の担当者の合わせて110名の方々が受講されました。

講義の内容は次のようなものでした。

1. 京都府立大学名誉教授の大手桂二先生による「砂防環境と植生」と題した講演
2. 土砂災害に関するビデオ上映
3. ビデオの解説と補足説明

受講された方々には大変お疲れさまでした。

今後、講習会を充実させていくための参考にしたいと考えておりますので、講習会に関するご意見、ご感想などをお聞かせ下さい。よろしくお願いいたします。

受講されなかった方々も平成11年度にも講習会を予定しておりますので、次の機会に是非ご受講下さい。また、ご要望などがございましたらご連絡ください。

なお、土砂災害に関する啓発活動の一環として活用いただけるように、当日上映したビデオ（「土砂災害のお話」、「がけ崩れ－災害と対策－」）などを用意しております。貸出しいたしますので、ご連絡ください。



大手桂二京都府立大学名誉教授による講演



熱心に講演を聞く受講者

■ 平成11年度砂防ボランティア全国大会（仮称）

来る平成11年6月3日（木）に富山県県民会館内会議室において、砂防ボランティア全国連絡協議会、立山砂防スペシャルエンジニア及び富山県砂防ボランティア協会の主催で「平成11年度砂防ボランティア全国大会（仮称）」が開催される予定です。

これは、阪神・淡路大震災を契機に全国各地に設立され、土砂災害防止の啓発や土砂災害危険箇所の点検などの活動を行っている全国の砂防ボランティア協会が一同に会し、砂防ボランティア活動を盛り上げるとともにボランティア相互の技術研鑽を図ることを目的に開催されるものです。

興味があり、全国大会に参加してみたいという方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

■ 全国の砂防ボランティアの活動

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に全国各地で設立された砂防ボランティア協会（団体）には、平成10年12月現在、60協会（団体）、約2,700名の砂防ボランティアが登録されています。（大阪府砂防ボランティア協会には、平成11年3月17日現在、271名が登録。）

災害時のボランティア活動に対する重要性が認識される中で、多くの人々が災害時のボランティア活動や自主的な防災活動について認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的として、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までを「防災とボランティア週間」とすることが定められました。

以下に砂防ボランティアによる「防災とボランティア週間」における取り組みを紹介します。

● 松本砂防スペシャルエンジニアの活動

「防災とボランティアの日」の平成11年1月17日、松本砂防スペシャルエンジニア、建設省松本砂防工事事務所、松本市の主催による「防災とボランティア」と題する記念講演とパネルディスカッションが松本市の市民会館において、一般市民や市町村職員など約200名の参加を得て行われました。

「21世紀ボランティア研究センター」（長野市）丸田代表による「ボランティアが創る21世紀」と題する講演が行われました。この中で、阪神・淡路大震災や長野五輪での活動に触れながら、「市民の運動は、行政に比べて機動力や柔軟なアイデアがある。これからはボランティアができないところを行政が補い、心を一つにしていけることが大切。」、「ボランティアは結果的に人のためだが、自分が生きるためのものにもなっている」と語り、活動を呼びかけました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、松本砂防工事事務所長、松本市総務部長などがパネリストとして参加し、「災害とボランティア〈私たちもボランティア〉」をテーマに、行政と市民の協力の大切さや役割分担などについて、各々の体験をもとに活発な意見交換が行われました。

● 山口県防災・砂防ボランティア協会の活動

平成11年1月20日、山口県立図書館において、山口県防災・砂防ボランティア協会主催による「第3回 砂防ボランティア講習会」が開催され、民間の土木技術者、県職員など約100名が参加されました。

同講習会では、県ボランティアセンター所長から「ボランティア活動について」と題して2次災害を起こさせないための心構えなどについて説明があり、山口大学工学部山本哲朗教授が「斜面の弱面と斜面土の諸物性」をテーマに講演されました。

同協会では、会員153名の技術研鑽のため、毎年このような技術講習会のほか、梅雨期前の防災パトロールを兼ねた現地講習会を実施しています。

（「砂防と治水 Vol.31.No.6」、「月間メディア砂防 1999.3 No.180」より一部抜粋。）

連絡先： 大阪府砂防ボランティア協会事務局

☎ 540-8570 大阪市中央区大手前2丁目

☎ 06-6941-0351（代表） 内線2956

☎ 06-6944-6039（直通）

大阪府土木部ダム砂防課内 担当 岡崎、渡部